【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年5月23日(2025.5.23)

【公開番号】特開2025-20303(P2025-20303A)
【公開日】令和7年2月12日(2025.2.12)
【年通号数】公開公報(特許)2025-026
【出願番号】特願2024-193448(P2024-193448)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/02(2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/16(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/10(2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/12(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/17(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/08(2019.01)
Ａ６１Ｋ 31/36(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/07(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/16(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 45/00 ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ 27/02
Ａ６１Ｐ 27/16
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 9/00
Ａ６１Ｐ 9/10
Ａ６１Ｐ 13/12
Ａ６１Ｋ 38/17
Ａ６１Ｋ 38/08
Ａ６１Ｋ 31/36
Ａ６１Ｋ 38/07
Ａ６１Ｋ 38/16
Ａ６１Ｋ 45/00

【手続補正書】
【提出日】令和7年5月15日(2025.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１）ＣＮＴＦ化合物、２）ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤、および３）持続送達成分を含み、前記ＣＮＴＦ化合物は、アミノ酸配列ＤＧＧＬ（配列番号１８）を含むペプチドまたはその塩であり、前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤は、アミノ酸配列ＹＬＧＡ（配列番号５）を含むペプチドである、薬剤送達系。
【請求項２】

前記ＣＮＴＦ化合物は、前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤に、または、前記持続送達成分に共有結合している、請求項１に記載の薬剤送達系。
【請求項３】
前記ＣＮＴＦ化合物は、前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤に共有結合している、請求項１または２に記載の薬剤送達系。
【請求項４】
前記ＣＮＴＦ化合物は、前記持続送達成分に共有結合している、請求項１から３のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項５】
１００μｇ～１ｍｇの前記ＣＮＴＦ化合物を有する、請求項１から４のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項６】
１００μｇ～１ｍｇの前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤を有する、請求項１から５のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項７】
前記薬剤送達系が、３００μｇ～１０ｍｇの重量を有するインプラントである、請求項１から６のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項８】
治療を必要とする哺乳類に投与される、１）遺伝性もしくは加齢性の脈絡膜、網膜、または視神経の障害もしくは変性、２）耳の障害、または３）神経性またはＣＮＳの障害を含む病状を治療するために使用される、請求項１から７のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項９】
前記薬剤送達系が前記哺乳類の眼内に注射される、請求項８に記載の薬剤送達系。
【請求項１０】
前記薬剤送達系が動脈内または静脈内に注射される、請求項８に記載の薬剤送達系。
【請求項１１】
前記薬剤送達系が心室内に注射される、請求項８に記載の薬剤送達系。
【請求項１２】
前記薬剤送達系が中枢神経系内に注射される、請求項８に記載の薬剤送達系。
【請求項１３】
前記薬剤送達系がくも膜下腔内または脳脊髄液内に注射される、請求項８に記載の薬剤送達系。
【請求項１４】
前記哺乳類はヒトである、請求項８から１３のいずれか１項に記載の薬剤送達系。
【請求項１５】
１）遺伝性もしくは加齢性の脈絡膜、網膜、または視神経の障害もしくは変性、２）耳の障害、または３）神経性またはＣＮＳの障害の治療のための、請求項１から１４のいずれか１項に記載の薬剤送達系、および前記薬剤送達系の使用説明のラベルを含むキット。
【請求項１６】
１）遺伝性もしくは加齢性の脈絡膜、網膜、または視神経の障害もしくは変性、２）耳の障害、または３）神経性またはＣＮＳの障害の治療のための薬剤送達系の製造における、１）ＣＮＴＦ化合物、２）ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤、および３）持続送達成分の使用であって、前記ＣＮＴＦ化合物は、アミノ酸配列ＤＧＧＬ（配列番号１８）を含むペプチドまたはその塩であり、前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤は、アミノ酸配列ＹＬＧＡ（配列番号５）を含むペプチドであり、前記ＣＮＴＦ化合物は、前記ＦＡＳまたはＦＡＳＬ阻害剤または前記持続送達成分に共有結合している、使用。
【請求項１７】
前記薬剤送達系が哺乳類の眼内に注射される、請求項１６に記載の使用。
【請求項１８】

前記薬剤送達系が動脈内または静脈内に注射される、請求項１６に記載の使用。
【請求項１９】
前記薬剤送達系が心室内に注射される、請求項１６に記載の使用。
【請求項２０】
前記薬剤送達系が中枢神経系内に注射される、請求項１６に記載の使用。
【請求項２１】
前記薬剤送達系がくも膜下腔内または脳脊髄液内に注射される、請求項１６に記載の使用。
【請求項２２】
前記哺乳類はヒトである、請求項１６から２１のいずれか１項に記載の使用。